

14131 日本語教育演習Ⅰ Seminar in Teaching Japanese I			3 年次～ 前期 2 単位
担当者	岡崎 敏雄	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関 連 資 格	日本語選必(E・Pe・Pc・C)
サブタイトル	「言語と社会」のテーマで、大学生活と就職、結婚、社会場面での言語の機能について考える		
授業内容 ・ ねらい	中心テーマ「言語と社会」について、「人間生態学としての言語生態学」及び同学に基づく「持続可能性教育としての日本語教育」を具体例の一つとして取り上げ、理論・実践の両面にわたり受講生の皆さん自身の問題として考え学んでいく。具体的には、大学生としての日常生活、直近の未来の就職・仕事・家族生活等の場面で言語はどのような力・機能を持って生きているか＜言語生態＞、それをもとに人はどう生きているか＜人間生態＞、そこに人はどのような社会を日々創り出しているか＜人間生態系としての社会＞を辿っていく。また、日本語学習者である留学生はどうか、留学生自身の思いを彼らの文章や談話をもとに辿っていく。言語と社会の関係に関する学問的知見を獲得し、あわせてそれを自己の具体的生活に適用して考え、表現し、また、他の人々の考えを理解するコミュニケーション能力を養う。		
授業計画	1. 言語と社会の関係について考える 2. 人間生態学としての言語生態学 3. グローバル化の下で変動する世界の中で持続可能な生き方を追求する言語教育－持続可能性教育としての日本語教育－ 4. 大学生としての日常生活・就職・結婚などと言葉、それを支える想像力 5. 日本・世界の若者の生活と言葉・想像力－雇用編・食糧編－ 6. 日本人大学生・留学生の文章・談話をもとに（上記3から5までを）辿る		
教科書 参考書	1. ハンドアウトとして『人間生態学としての言語生態学に基づく持続可能性教育の理論と実際』他を配付 2. 参考書、受講生の授業中の反応に即して紹介する		
評価方法	レポート提出		
事前準備学習 履修条件等	自分の生活に即して、考え、話し、聴き、読み、書く楽しさを味わって欲しい。		